

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・単価は低いですが、航空券と宿泊がセットになった商品が順調に売れている。航空券は、運賃が上がったため人員ベースでの伸びはないが、売上は前年の120%で推移している。
	やや良く なっている	衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・ブローカー商品においては、高額、高品質のものの売行きが変わらないが、中途半端に高級な商品は厳しい。特別な価格を設定したり、催事を組んだりすることによって、まずまずの売上を確保している。販売量の動きはまずまずである。
		衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・ミセス婦人服の売上単価がやや上がっており、また、毎年行っている毛皮フェアが前年比15%以上伸びた。高級品の感触が良くなっている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・光ファイバーのインターネットが上向きになっている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月の後半は、忘年会を早めに行う客もおり、少しずつ来客数が増えて良かった。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・大相撲九州場所があるため例年にぎわうはずが、相撲人気の低迷もあり近年は昔ほど盛り上がりがない。それでも販売量は底を打っている。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今年最高の実績となった。個人催事の伸びが顕著である。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・客単価は安いですが、客の動きは活発になりつつある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・県外からの客が多く、売上が伸びた。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・ゴルフ場は、休日はほぼ満員であり、来客数は前年より5%上回っている。いろいろなコンペを企画したため客が集まった。好天の影響もあるが、今まで見られなかったことである。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・少し来客数が増えている。		
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・建売住宅への来客、顧客数が増えている。		
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・周辺のスーパー等が毎日のように売出をしており、商店街では客足が遠のいている。	
	商店街（組合職員）	来客数の動き	・土日祭日の来街者が少ない。それに比べ、郊外の量販店は駐車待ちするほどである。商店街は大変厳しい。	
	商店街（代表者）	それ以外	・好天が続く季節の変わり目がはっきりせず、冬物商品の出足が鈍い。	
	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	・来客数が増加しない。景気が回復しつつあるという話は聞くが、実感はない。	
	一般小売店〔茶〕（店長）	販売量の動き	・来客数、客単価が減少している。	
	一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・このところ果物等の嗜好商品の動きがかなり鈍くなってきている。客数に変化はないが、客単価が減少している。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・食品部門以外は、総じて販売数量が前年をクリアできていない。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・気候等が影響し勢いがなくなったが、後半の冷え込みやイベント等により前年実績はキープした。休日は街中への動員が見込めるが、平日はやや少なくなってきた。	
	スーパー（店長）	お客様の様子	・客単価、客数は下げ止まったが、1品単価の下落や買い渋りが起こっている。	
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価は横ばいである。	
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・相変わらず消費者は1品単価に敏感である。特売商品に飛びつく傾向が見られる。	
	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店では営業時間延長によって売上が前年比3%増となった。逆にコンビニは同8%減、ローカルスーパーは同22%減と、売上をかなり落としている。こういった状況が3か月前から続いている。	
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・客単価、客の動きともほぼ変わらない。	

	乗用車販売店 (従業員)	競争相手の様子	・価格競争が厳しく、利益が見込めない。
	乗用車販売店 (管理担当)	来客数の動き	・秋口の最大需要期にもかかわらず客数は少ない。自動車整備のイベントでの客数は多く、新車の買い控えが続いている。
	その他専門店 [ガソリンスタンド](統括)	販売量の動き	・ガソリンや軽油の販売量は前年とほぼ変わらないが、暖冬のため灯油の販売量が前年の60%程度しかない。
	スナック(経営者)	お客様の様子	・仕事は忙しいが売上はかんばしくなく、給料も上がらない、という話をよく聞く。また、交際費なども抑えられ、自己負担しなければならない場合もあるようだ。
	タクシー運転手	単価の動き	・客の動きは若干良くなったが、単価が下がり気味なので、動いた分だけプラスになっていない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・秋の行楽シーズンであるにもかかわらず先月とあまり変わらないほか、忘年会も寒くならないせいかまだ始まらず、人の動きが昨年比べて悪い。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・今月の契約件数が解約件数を下回り、創業以来「純減」となった。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・土地の販売で広告を打っても客の来場が少ない。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・月初めに骨とう市等の大きなイベントが開催されたことにより、来街者が大変に多かったが、販売には結び付かなかった。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・ここ数か月小康状態が続いているが、今月は暖冬の影響で、衣料品関係を中心に落ち込みが非常に目立っている。商店街全体としてみると、業種によってもばらつきはあるものの、全体が少し落ち込んでいる。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・衣料品を中心に冬物商材が苦戦している。前年割れの状態であり、まだまだ景気は上向きとはいえない。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・年末恒例の北海道物産展は好調であったが、衣料品が紳士、婦人ともに不振であった。天候の影響だけでなく、必要な物にはお金を出すが、我慢できる物は使い続ける等、お金の使い方が慎重になっている。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・暖冬の影響で非常に厳しかった。客は定価よりもバーゲンに目が向いている。
	百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・百貨店の一番大きなマーケットであるギフトの需要が激減している。お歳暮は、策を講じるものの、軒並み不調である。今年は、昨年まで好調であった先行受注が激減しており、消費の低迷が顕著にみられる。
	百貨店(売場担当)	来客数の動き	・暖冬により衣料品が特に不調であった。入店客数は前年の92%、売上は95%、買上数量も96.1%である。今月中旬、下旬と平年並みの気温に戻っているが、前半の落ち込みをカバーできていない。
	百貨店(業務担当)	お客様の様子	・昨年のプロ野球優勝セール等の裏年ということもあるが、全体的に低調である。
	スーパー(経営者)	競争相手の様子	・競合店の増加、大型店等の出店が影響している。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・去年売れていた、フリースのジャケット等の防寒着、肌着、布団、こたつ等、あらゆるものの販売量が激減している。価格を抑えても売れない。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・客数が減少気味である。客単価もなかなか回復しない。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・暖冬のせいか、衣料品の売上が前年の77.3%、食料品は86.7%である。鍋物商材の売行きが悪い。
	スーパー(店長)	単価の動き	・暖冬により冬物衣料品、食料品の売上げが大きくダウンした。特に単価が大きくダウンしている。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・衣料品の動きが悪く、販売量は前年比20%減である。
	スーパー(経理担当)	単価の動き	・売上高が前年を大きく割っている。客数の減少はほとんどないが、客単価が減少している。買上点数に変化がないことから、1品単価の低減が影響している。
コンビニ(経営者)	競争相手の様子	・当社4店舗のうち2店舗の近隣に競合店が出店し、非常に厳しい状況である。このままではお互い共倒れという最悪の事態もありうる。	
家電量販店(総務担当)	販売量の動き	・季節商品が全く動かず、来店客数に影響が出た。	

	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・暖冬により季節家電が前年比3～4割程度となり全減状態である。反面テレビ等はよく売れている。トータルでは前年より悪くなっている。	
	住関連専門店（経営者）	単価の動き	・プライダル家具の単価が低く、思うように売上が上がらない。	
	住関連専門店（総務担当）	販売量の動き	・暖冬により販売量が少なくなっている。	
	その他専門店【医薬品】（従業員）	お客様の様子	・昨年に比べ気温が高く、季節商品の売上が悪い。	
	旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・ボーナス支給額が昨年より増えると報道されているが、消費行動に結び付いていない。年末年始の旅行申込の動きが悪く、同時多発テロの影響で低調だった前年の数値と比べても、ほとんど改善されていない。ただ、年金受給者世代は比較的堅調である。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・修学旅行のタクシーによる観光を行っているが、前年に比べて約半分という状況である。	
	通信会社（業務担当）	販売量の動き	・9～10月のキャンペーンが終了し、買換え月の前倒しによる需要減と、売れ筋商品の終了および高値販売により、新規契約数が伸び悩んでいる。また買換え台数も大幅減となっている。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・キャンペーンが終了したこと、新機種発売があったものの価格が高いことが影響し、来客数、販売量ともに減少している。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・コンベンション、ゴルフは好調に推移している。各種イベントとアミューズメントの伸びがいま一歩である。	
	パチンコ店（店員）	来客数の動き	・毎年11月は落ち込みがひどいが、今年は特にひどく、手の打ちようがない状況である。	
	美容室（経営者）	単価の動き	・来客数が大分減っている。来店をずらしたり、カットとパーマをしていた方がカットのみになったり、市販のヘアカラー剤を使う等の行動がみられる。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅ローン減税による駆け込み受注の反動で、契約が伸びない。	
悪くなっている	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・コート、重衣料が全く売れない。また、大型商業施設がオープンし、競争が厳しくなっている。	
	百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・近隣に西日本最大の大型商業施設がオープンして3か月たつが、客数は15%程度減少している。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・暖冬の影響もあり、コートを始め重衣料品の動きが非常に悪い。ファッション予測でいわれていたブーツの動きも悪い。	
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・9～11月は、土日の来客数が極端に減り、売上ゼロの日が続いている。9月にオープンした大型商業施設の影響がまだ続いている。	
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・例年11月下旬は忘年会の走りでありかなり忙しいが、今年は全く忙しくない。前年比30%ダウンは避けられない。	
企業動向関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・確実に物件量が増えている。受注単価は低いものの福岡を中心にかなり活発な動きが出ており、生産部隊の残業が50時間以上に上っている。ただ、九州の県別売上動向では、福岡の一極集中となり、鹿児島、長崎、大分、宮崎は相変わらず低迷している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・焼き物業界は、夏場は大変厳しかったが、現在はいくらか回復している。ただ、昨年度より落ちているのは確実である。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連並びに液晶装置関連が非常に活発に動いており、半導体関連全般において景気が上向いてきた。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が増加している。特に短納期の受注が増えている。
変わらない		経営コンサルタント	取引先の様子	・これといって特に良くなっているというわけではないが、悪材料にめどが付き始めている。
		鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料高が現在続いているが、製品価格も上げ基調にあるため、月次の収支は安定している。

	金属製品製造業（企画担当）	それ以外	・仕事量が増えてきた業界では、値戻しの動きもみられる。ただし、当社においては、原材料も同様に値戻し要請を受けている。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・貸出減少のスピードはピークを超えているが、依然として減少は続いている。
	その他サービス業〔物品リース〕（役員）	受注量や販売量の動き	・景気回復の動きがあるものの、熊本県内では半導体関連、液晶など一部に限られ、リース契約が低迷している状況からみると、全体としては依然不況感から抜けさせていない。
やや悪くなっている	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は最低の受注量となった。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・全国、九州ともに、暖冬の影響で酒屋の売上、特に清酒の売上が全滅状態である。まだまだ回復の望みはない。
悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・暖冬により、関東・東北南部の露地物野菜が堅調な出荷を続けている。供給過多により宮崎産野菜（園芸作物を含む）の価格は、前年比30～40%に落ち込んでいる。
	繊維工業（営業）	受注量や販売量の動き	・企業の経費削減やリストラが顕著になった。特に繊維関係はかなりのスピードで進んでおり、依然として倒産している工場もみられる。
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き
		職業安定所（職員）	求人数の動き
		民間職業紹介機関（支店長）	それ以外
変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・11月は10月の勢いを引き込んだ形で前半は求人が活発だった。また、年末商戦用の食品製造メーカーの求人が活発に動いた。しかし、窓口になっているのは、ほとんどがアウトソーシング会社で、中小零細規模のメーカーでもアウトソーシングの利用が定着してきている。各企業は、先行き不透明な景気に対して、雇用調整がしやすい対策をとっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・どの職種に関しても雇用は控えられているような状態である。
	悪くなっている		